

第1回まるごと教育祭

2月15日(土)、「第1回まるごと教育祭」がたろう!つくろう!とどけよう!わが町の良さ」が大方高校で開催され、約250人が来場しました。

同祭は、子どもたちに地域との交流を通してふるさとを愛する気持ちを高め、貢献意識を育むことを目的に町が取り組む「ふるさと・キャリア教育」について、子どもたちの学習の成果を発表する場として、また、町内で活動する団体などが活動内容を子どもたちに伝える場として大方中央保育所、入野小学校、大方中学校、大方高校が主催しました。

開会行事では、主催者を代表して大方高校の太西雅人校長から「子どもたちの取組や頑張りを多くの人に知ってもらいたい」とあいさつがありました。

オープニングアトラクションとして園児らの歌と踊り、入野小学校の児童らが作詞した「防災ソング」が披露され、会場を盛り上げました。その後、子どもたちは発表をする班、発表を見る班に分かれて行動し、それぞれの学習について学び、理解を深めていました。



発表を行う児童



保・小・中・高が連携した初の教育祭



防災かるたに挑戦する子どもたち

また、町内で読み聞かせボランティアを行う「おはなし玉手箱」による紙芝居や大方中学校吹奏楽部による演奏、最後には、来場者全員で「ふるさと」を合唱しました。来場者からは、「保育所から高校までが一体となった取組が素晴らしいと思った」、「テーマが黒潮町ということが子どもだけでなく大人にも良かった」などと感想が聞かれました。

小学生が長巻寿司作りに挑戦

町農業委員会では、女性農業委員が中心となり、子どもたちに地産地消の料理作りを教えています。

令和元年度は、12月20日(金)に三浦小学校3年生から6年生により18・7m、1月16日(木)に田ノ口小学校の全校児童により16・8m、2月3日(月)に南郷小学校の全校児童により19・5mの長巻寿司を完成させました。

女性農業委員やJA高知県女性部の町内部員に教わりながら、長巻寿司とサラダ、豚汁、サツマイモの茶巾絞りを作り、できあがる大きな歓声が上がりました。

女性農業委員の松本昌子さんは、「みんなで楽しく調理をしたり、食事をしたことは思い出に残ると思う。また、農業者が野菜やお米を一生懸命作っていること、保護者や給食センターの人たちが心を込めて料理を作っていることも考えてもらうきっかけになれば」と話しました。



南郷小での挑戦の様子

幡多地域防災学習会

幡多地域在住の聴覚障がい者やその家族、手話通訳者、要約筆記者などを対象にした「高知県幡多地域防災学習会」が2月9日(日)、高知県聴覚障害者情報センターにより役場本庁で開催されました。

会では、南海トラフ地震や豪雨災害についての説明、また、町の防災の取組を町情報防災課と町健康福祉課、大方高校が報告しました。その後、障がいや病気のある方が支援や配慮を必要としていることを周りに知らせる「ヘルプマーク」について、6チームに分かれて話し合うグループワークが行われました。

同センターの西村周二所長は、「障がいのある方もない方も一緒に意見交換ができて良かった」と話しました。



ヘルプマークについて話し合う参加者

参加した森田眞次さんは、「いろいろな情報を得られてとても勉強になった」と話しました。